



## Pick Up News

この号も大学院特集です。大学卒業=就職と考えている人にとっては、大学院進学は何か人生の遠回りをするようなイメージがあるかもしれません。学費をさらに2年間支払い、負担が多くなることは事実です(実際は、奨学院やIAの制度により大幅な負担軽減策があります)。しかし実際には、自分自身でさらに専門的な力、人間力を高め、夢・目標に近づくための近道であると考えた方がよいでしょう。ある統計では、大学院卒は生涯年収で数千万以上、年収にしても約100万円ほど高くなるという試算があります。2年間の学費分を取り戻すことが十分できるわけです。何より「学生」の時にしか経験できない体験や時間があります。その時間は、必ず人生においてプラスになる時間です。大学院について分からないことや質問があれば、担任の先生、研究室の先生に遠慮なく尋ねてください。私のところに来てもらってもかまいません。せっかくある進路、まずはしっかりと知ってもらいたいと思います。さて、後期がスタートしました!暑さも一段落、秋らしくなりました。爽やかな秋、食欲の秋、大いに楽しみましょう!

大学院特集です。大学院生の声を通して大学院の魅力を感じて下さい。

1. 大学院を志した理由
2. 進学を決めた時期
3. 大学院で学んでの感想
4. 学部生へのメッセージ

## 進路としての大学院の選択

1. 建築に対する知識と技術の向上のため
2. 3年の後期
3. 学部時代で深く掘り下げられなかった分野に触れる機会が多くあり充実しているが、時間の使い方に苦労している。
4. 院進を決める時期に早い遅いはないので、自分が突き詰めたい分野があるのなら院を視野に入れるのもいいと思います。(齋藤研 阿部大輝)

1. 就職の条件に、院卒である必要がある企業が一定数あったから
2. 3年生
3. 主体性が求められる授業が多く、より有意義な授業を受けることができる
4. 就職で悩んでいるなら、大学院進学を考えて見るのも良いと思います。(石井研 千葉龍矢)

1. 大学時代の研究を深く研究したいから、大学院を進学しました。
2. 大学二年生の時両親と担当の先生をいろいろ相談した後に、大学卒業した後に大学院に進学することが決まりました。
3. 先生の指示に従って大学時代の研究より深い知識を勉強することは一番面白いです。
4. 現時代は大学卒業で学んだ知識が足りないだと思います。できるだけ大学院に入ってもっと勉強する方がいいと思います。(薛研 寧子牛)

1. 専門性を高めたいと考えたため
2. 高2の文理選択で理系に進学することを決めるとき
3. 研究室の課題と並行して様々なことにチャレンジできるため、忙しくも充実した日々を送れている。
4. 10年くらい大学院生で過ごしたいと思うほど楽しいです。大学院は学生としてやりたいことがある人にはおすすめです。(福屋研 三品亮祐)

1. より専門的な知識を身につけたかったから。また、就職前にコミュニケーション能力やプレゼン能力をもっと鍛えたいと思ったから。
2. 4年生の4月頃
3. 少人数での授業のため先生との距離が近く、質問等がし易い環境だと感じた。
4. 就職活動で悩んでいる、将来について不安がある等の理由から進学するのも良いと思います。勉学に励むと共に自分自身を見つめ直す2年間を確保するという意味で進学を選択肢のひとつにしてみてもいいかでしょうか。(新井研 君島実)

春季推薦(5月出願)は奨学金もあります。進路の一つとして早めに意識するとよいでしょう!

1. 私は4年間の大学生活で、基礎的な知識を勉強してきた。3年生から、研究に手で触れると、地震、振動にもっと興味深く感じた。将来、一研究者として働きたいため、大学院に進学しました。
2. 大学に入る前から、気持ち的!3年生で本気で行きたい!と思った。
3. 専門知識を深く勉強できた以外、時間管理の重要性を感じた。授業時間ももちろん、研究する時間は自由管理をしている。
4. もっと知識を充実したい、学生生活をしてみたいのだったら大学院進学を勧めますよ!(段志杰)

**Pick Up Lab.** 鍵屋研究室のテーマは、「安心で豊かな生活を環境と防災の両面から創造する」です。建築やまちづくりの立場から、こうなったらいいな、といった夢を自由な発想と技術的な可能性で裏付けて、日常の生活を安心して豊かなものにする方法を「かたち」にして、社会に向けて提案していきます。いわば建築・都市と装置、情報の新しい関係を考えて未来のエスキースを描く研究室です。今年度は、まちの防犯と「犬のおまわりさん」、環境・防災からみたパーソナルスペース、建物内のロボットの移動ルールといったテーマに取り組んでいます。



自動運転ロボットの建物内の移動ルールの研究風景



2年 土田 沙和 さん  
鶴岡北高校 出身

## Pick Up Student

大学に入学してから1年半が経ちました。入学当初の建築学の学びへの期待や新鮮さは今も変わらず、むしろ高まるばかりで、建築学の幅広さを実感しています。次第に専門性が増す学びに、ついていくことが大変だと感じることもありますが、知識が増えることが楽しいです。分からないことを質問したり友人と一緒に学んだりすることで乗り越え、学びを深めています。先輩や友人との関わりも増え、勉強や資格、建築やデザインのこと、将来のことなど様々な話を聞き刺激を受けています。今後は将来に向けて選択することが増えると思います。広い視野をもって学び続け、あらゆる可能性を広げたいです。そして、将来への選択に繋げていきたいです。



1年 高梨 晃成 さん  
長野高校 出身

## Pick Up Student

私が東北工業大学に進学した理由は2つあります。ひとつめは、東日本大震災からの復興を建築がどう後押ししたのかを学びたいと考えたからです。実際に現地を訪れ、住民の方と対話をしながら学びたいと思い、東北の地への進学を志すようになりました。ふたつめは、建築学部の魅力です。建築は意匠、構造、計画、歴史、材料、環境など多くの分野が集まっています。建築学部ではより総合的な建築を学ぶことができます。文系、理系関係なく集まった仲間と共に学び、様々な分野の先生方から建築を学べる環境。これは東北工業大学ならではの強みだと思います。これからも仲間と協力し、挑戦しながら建築を学び、実践して自分なりの未来のエスキースを描いていきたいです。